

小平中央公園鳥類調査報告書

2012年5月10日

井の頭バードリサーチ 高野丈

調査実施日時：2012年4月30日

天候：くもり

調査員：どんぐりの会、井の頭バードリサーチ

調査地：小平中央公園

調査方法：スポットセンサス

調査定点：うさぎ橋、雑木林上水寄り、雑木林奥、津田塾遊歩道、津田塾大南

1. 全観察種（11種）

留鳥：キジバト、コゲラ、ヒヨドリ、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ムクドリ、ハシブトガラス

夏鳥：センダイムシクイ、キビタキ

2. 各定点での出現率

a.うさぎ橋		b.雑木林玉川上水側	
シジュウカラ	44.4%	シジュウカラ	26.5%
メジロ	16.7%	ヒヨドリ	29.4%
ヒヨドリ	16.7%	センダイムシクイ	11.8%
エナガ	11.1%	コゲラ	11.8%
キジバト	11.1%	ハシブトガラス	11.8%
		メジロ	5.9%
		ヤマガラ	2.9%
c.雑木林奥		d.津田塾遊歩道	
シジュウカラ	29.0%	シジュウカラ	46.9%
センダイムシクイ	25.8%	ヒヨドリ	34.4%
キビタキ♂	12.9%	ハシブトガラス	6.3%
ハシブトガラス	12.9%	コゲラ	6.3%
メジロ	6.5%	メジロ	6.3%
ムクドリ	6.5%		
コゲラ	3.2%		
ヒヨドリ	3.2%		
		総合出現率	
e.津田塾大南		シジュウカラ	35.0%
シジュウカラ	32.1%	ヒヨドリ	20.3%
ハシブトガラス	21.4%	ハシブトガラス	11.2%
キビタキ	14.3%	センダイムシクイ	8.4%
ヒヨドリ	14.3%	メジロ	8.4%
メジロ	10.7%	コゲラ	6.3%
コゲラ	7.1%	キビタキ	5.6%
		キジバト	1.4%
		エナガ	1.4%
		ムクドリ	1.4%
		ヤマガラ	0.7%

※太字は夏鳥

3. 調査結果について

- a. 調査定点 5 カ所の内、3 カ所で夏鳥（センダイムシクイ、キビタキ）を確認。小平中央公園は季節移動中の鳥類が立ち寄って休息する中継地であることを示している。
- b. 特に雑木林は留鳥、夏鳥ともに観察種が多く、生物多様性保全上、より重要な生態系を有している。
- c. 当地の環境を評価するには調査回数・頻度を増やし、追加調査をすることが必要。